

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年7月4日 (2013.7.4)

【公表番号】特表2012-530159(P2012-530159A)

【公表日】平成24年11月29日 (2012.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-050

【出願番号】特願2012-515368(P2012-515368)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/12 (2006.01)

C 0 8 K 7/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/18 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 K 6/00 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

A 6 1 L 29/00 (2006.01)

A 6 1 K 49/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/12

C 0 8 K 7/00

C 0 8 K 3/18

A 6 1 L 27/00 Z

A 6 1 K 6/00

A 6 1 L 31/00 C

A 6 1 L 31/00 P

A 6 1 L 27/00 P

A 6 1 L 29/00 E

A 6 1 L 29/00 Q

A 6 1 L 29/00 R

A 6 1 K 49/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月17日 (2013.5.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

B i O C l 顔料を含むことを特徴とする、形状記憶高分子。

【請求項 2】

B i O C l 顔料が薄片形態であることを特徴とする、請求項 1 に記載の形状記憶高分子。

【請求項 3】

B i O C l 顔料が 2 ~ 5 0 μ m の粒子サイズを有することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の形状記憶高分子。

【請求項 4】

B i O C l 顔料を粉末形態で用いることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の形状記憶高分子。

【請求項 5】

B i O C l 顔料のポリマー中の比率が、ポリマーまたはポリマー混合物の合計重量を基準として 5 ~ 5 0 重量 % であることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の形状記憶高分子。

【請求項 6】

ポリマーが熱可塑性物質の群から選択されることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の形状記憶高分子。

【請求項 7】

熱可塑性物質が、ポリウレタン (T P U)、ポリエステル、ポリビニルアルコール、ポリビニルシロキサン、ポリカーボネートの群から選択されることを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の形状記憶高分子。

【請求項 8】

5 0 A ~ 8 0 D の Shore 硬度を有することを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の形状記憶高分子。

【請求項 9】

3 5 ~ 5 0 の回復温度を有することを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の形状記憶高分子。

【請求項 1 0】

少なくとも 1 種の医学的活性化合物を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の形状記憶高分子。

【請求項 1 1】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の形状記憶高分子の調製方法であって、 B i O C l 顔料を、プラスチック中に混ぜ合わせるか、または選択されたプラスチックの重合の間に加え、得られた混合物を、任意にさらなる添加剤を加えて、押出機または射出成形機中で加工することを特徴とする、前記方法。

【請求項 1 2】

少なくとも 1 種の医学的活性化合物をさらに、プラスチック粉末または化合物に加え、得られた混合物を、任意にさらなる添加剤を加えて、押出機または射出成形機中で加工することを特徴とする、請求項 1 1 に記載の形状記憶高分子の調製方法。

【請求項 1 3】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の形状記憶高分子の、骨セメントとしての、根管錐体、補強ピン、ステント、血管インプラント、カテーテル材料、移植補助器具、医療技術における用途のための基準ピンの製造のための使用。

【請求項 1 4】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の形状記憶高分子からなる、成形品。